

日本独自の哲学を築き上げました。その中でも『善の研究』は、日本の哲学議論の中心に存在したといっても過言ではない書物です。純粋経験や統一力によって語られる西田の形而上学は、やがて「善とは何か?」という問いに対する一つの解をもたらしてくれるでしょう。この京都で生まれた思想について、私たち学生と一緒に考えてはみませんか?

<日時>2016年6月10日(金)18:15-19:45

<場所>人間・環境学研究科棟1F 環on(わおん)

<書名>『善の研究』改版;岩波書店,2012 (1F グレートブックス岩波文庫||B||124-1) ※本をお持ちいただく必要はありません。

<コーディネーター> (理学部三回)田中仁海さん、(同)荒井駿さん、(同)田中祥貴さん、(工学部物理工三回)森川健太郎さん

<申込み> 事前予約優先(当日参加も歓迎)。下記アドレス宛にメールでお申し込みください。件名を「善の研究読書会」とし、お名前、ご所属を明記 してください。 いただいた情報はコーディネーターにお知らせします。 どうぞご了承ください。 また、今後の読書会のご案内を図書館から送らせて いただくことがございますが、それ以外の目的には使用しません。

<問合せ先>京都大学 吉田南総合図書館(逍遥館) TEL:075-753-6525 MAIL:eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp